

茜色の歌姫・登場人物一覧

【第一部】

大海人皇子 おおしあまのみこ 大和の大王家の皇子 631～

*

厩那 あだ 伊勢の乙女 632～

*

宝大王 たからのおおきみ 大和の大王 610～

軽皇子 かるのみこ 宝大王の弟 612～

葛城皇子 かつらぎのみこ 宝大王の子 626～

古人皇子 ふるひとのみこ 炊屋大王の孫 615～

*

飯豊大王 いいとよのおおきみ 大和を開いた女王

炊屋大王 かしきやのおおきみ 飯豊大王の孫

厨戸皇子 うまやどのみこ 炊屋大王の甥。摂政

山背皇子 やましろのみこ 厨戸皇子の子

*

鏡郎女 かがみのいらつめ 土蜘蛛の長 623～

安見娘 やすみこ 土蜘蛛 626～

*

中臣鎌子 なかのおみのかまこ 飛鳥の豪族 614～

中臣金 なかのおみのかね 鎌子の従弟

蘇我鞍作 そがのくらくり 飛鳥の大臣（おおおみ）

蘇我毛人 そがのえみし 鞍作の父

佐伯子麻呂 さえきのこまる 葛城皇子の舎人（とねり）

稚犬養網田 わかいぬかいのあみだ 葛城皇子の舎人

膳臣（かしわでのおみ） 采女を集める官人

*

村国男依 むらくにのおより 大海人皇子の舎人

置始比等 おきそめのひと 大海人皇子の舎人

海部石床 あまべのいわとこ 大海人皇子の舎人

朴本大国 えのもとのおおくに 大海人皇子の舎人

小楯 海部の一族の若者

*

稗田阿礼 ひえだのあれ 伊勢の洞窟に住む盲目の女。厩那の養母 615～

系図

